2026 年 11 月 19 日
パナソニック ホームズ株式会社
トヨタホーム株式会社

子ども本人へのアンケートで見えた、成長に伴う住まい方の変化

「長く住み続けられる住まい」に関する意識・実態調査を実施

パナソニック ホームズ株式会社（以下、パナソニック ホームズ）とトヨタホーム株式会社（以下、トヨタホーム）は、「長く住み続けられる住まい」をテーマとした共同研究の一環として、小学校高学年から高校生までの子どもとその保護者を対象にしたWebアンケート調査を2026年4月～5月に実施し、このたび、その結果を公表しました。

住まいや子育てに関する調査では保護者を対象としたものが一般的ですが、子どもが小学校高学年以降になると、学校や友人、デジタル機器との関わりが広がって自室で過ごす時間が増え、その実態は見えにくくなります。そこで本調査では、子ども本人にもアンケートを実施しました。

2社それぞれが持つオーナーさまの生活者モニター組織（パナソニック ホームズ『くらし兆しラボ』※1、トヨタホーム『ミライリサーチパーク』）などを活用し、戸建住宅のオーナーさまのうち、子ども285名・親417名から回答を得ました。そこから、日常の行動や住空間の使い方が、子どもの成長に伴いどう変化するのか、親子双方の視点から明らかにしています※2。

■調査実施の背景

住宅価格高騰や金利上昇で住宅取得にかかる負担が増す今、住まいには「長く住み続けられること」がこれまで以上に求められています。両社は、建てたときだけでなく、その後の家族構成や暮らし方の変化にも対応できる住まいのあり方を探るため、変化の大きな要因の一つ「子どもの成長」にフォーカスし調査を行いました。

■結果サマリー

1. **子どもの学びの場は、必ずしも1カ所に集約されない**
   学齢によらず、学校の教科書や筆記用具などを2カ所で使う子どもが約3割。また、一部の子どもは成長に伴って学びの場を自室に完全に移行せず、学習内容やそのときの気分でリビング学習を継続。

2. **子どもの年齢が進むにつれて着替えは自室で リビングでの着替えは「快適な温度環境」も要因に**
   中学生・高校生になるにつれ、子ども部屋で着替える割合が高まる一方で、高校生の14%がリビングで着替えていると回答。小さいころからの習慣や「部屋の温度がちょうどいい」が理由。

3. **親子で最もシェアされているものは「スマートフォン等の充電器・ケーブル」 リビング収納に新たな課題**
   共有する充電器・ケーブルの定位置はリビングが8割超で、家族共用の充電環境がリビングに集約されている実態が明らかに。置き場所や管理方法が曖昧になりやすい課題も。

4. **子どもの成長後もリビングは家族をつなぐ場に 家族時間を支えるリビングの価値を再確認**
   「テレビのあるリビングで過ごす理由」として、親の73%、子どもの34%が「家族が近くにいるから」を挙げた。テレビは親の4割が「付き合い視聴」で、子どもの見るコンテンツに付き合うことで団らんが成立。

本調査の結果から、現在の暮らしやすさだけでなく、子どもの成長や家族構成の変化など、将来の暮らしの変化にも対応できる柔軟性・可変性を持った間取り、収納計画、家族をつなぐリビングなどを備えておくことで、両社が目指す「長く快適に住み続けられる住まい」の実現につながると考えられます。

■調査概要

対　　象	：	パナソニック ホームズ、トヨタホームそれぞれが販売した戸建住宅に居住する 小学校高学年～高校生とその保護者（オーナーさま生活者モニター組織である パナソニック ホームズ『くらし兆しラボ』、トヨタホーム『ミライリサーチパーク』などを活用）
対象地域	：	全国
サンプル数	：	子ども 285 名、親 417 名（うち、親子共に回答があったのは 283 組）
実施期間	：	2026 年 4 月 24 日～5 月 11 日
調査方法	：	Web アンケート調査
調査主体	：	パナソニック ホームズ、トヨタホーム

■調査結果を活用した住まいの提案

【パナソニック ホームズ】戸建住宅の規格型商品『フォルティナ MyFit』
（商品ページ：https://homes.panasonic.com/sumai/lineup/fortinamyfit/）

当商品が掲げる 3 つのコンセプトの一つ「『はたらく』をより自由に」を反映したプランでは、今回の調査で明らかになった子どもの学びの場の実態を考慮し、住む人が仕事・学びと家族の時間を無理なく両立できる暮らしの実現をアシストします。

具体的には、1 階 LDK に家族の気配を感じながら仕事・学びに取り組めるワークスペースを、2 階には集中できる個室を設けてシーンによってワークスペースを選べるようにし、子どもの成長や親の働く環境の変化に対応できる住まいを提案します。他にも、子どもの幼少期や自立後に子ども部屋が空室になる期間、親が趣味に活用できるよう可変性のあるプランを設けています。



ワークスペースの提案イメージ

【トヨタホーム】企画住宅（セミオーダー住宅）『SINCE BiSS Fit』
（商品ページ：https://www.toyotahome.co.jp/housing/brand/since_bissfit/）

厳選プランをベースとしながら、お客さま一人ひとりの価値観や暮らし方に寄り添う住まいを提案する当商品では、リビングとつながるワークスペースや、家族がそれぞれの時間を過ごせる広がりのあるリビング空間など、多様な暮らしにフィットする住まいづくりを行っています。

今回の調査では、子どもの成長に伴う居場所や生活行為の場の変化や家族が緩やかにつながるリビングの重要性が確認されました。当商品では、リビング空間を大切にしたいという想いや、将来の暮らしの変化を見据えた間取り・住まいづくりなど、お客さまの住まいへの想いを取り入れながら間取りをアレンジできます。



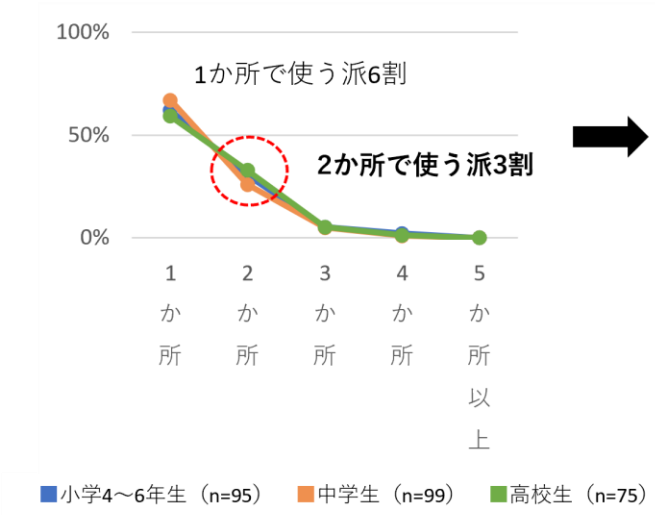
リビングの提案イメージ

■調査結果の詳細

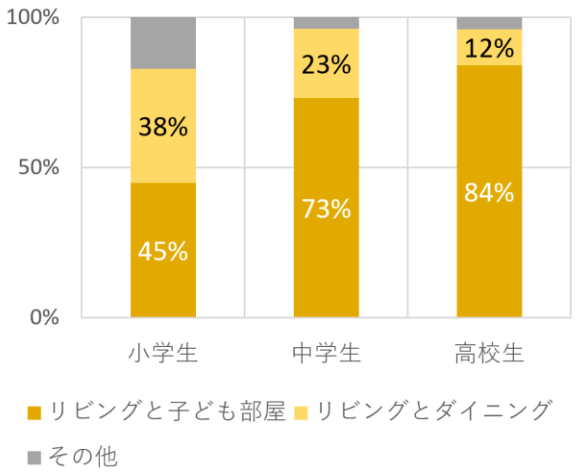
〈成長に伴うモノ・場所・行動の変化〉

サマリー1.
子どもの学びの場は、必ずしも1カ所に集約されない
子どもに遊び・楽しみ・学びで使うものの「場所」を尋ねたところ、学びで使う学校の教科書や道具などは、「1カ所で使う派」が約 6 割、「2 カ所で使う派」が約 3 割に。「2 カ所で使う派」は、小学生ではリビングとダイニング、リビングと子ども部屋を組み合わせて利用しているが、中学生・高校生になると、リビングと子ども部屋の組み合わせが中心となり、学齢が上がっても複数の場所で学習する様子がみられた。

Q.学校の教科書や道具を使う住まいの空間の数



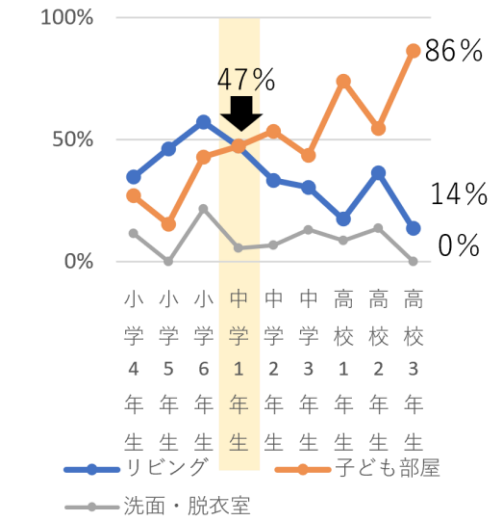
Q.学校の教科書や道具を使う場所（2か所で使う派）（n=80）



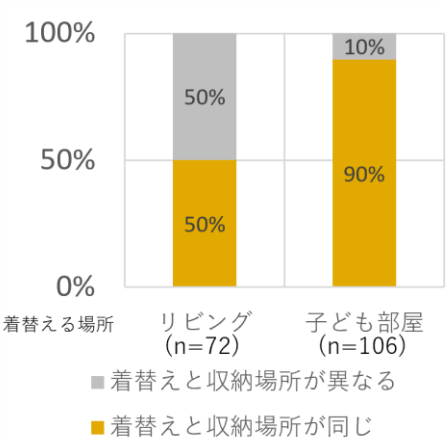
サマリー2.
子どもの年齢が進むにつれて着替えは自室で　リビングでの着替えは「快適な温度環境」も要因に
服を着替えるとき、いつも家の中のどの部屋で着替えるかという質問に対し、休日に私服を着替える場所は、小学生ではリビングが中心で、中学生・高校生になるにつれ、子ども部屋を利用する割合が高まる。それでも高校 3 年生の 14%はリビングで着替えると回答。リビングで着替える理由には、「小さいころからそうだから」(46%)、「部屋の温度がちょうどいいから」(16%)などが上位となった。

Q.服を着替えるとき、いつも家の中のどの部屋で着替えていますか。〈複数回答〉

休日の私服を着替える場所　(n=209)



休日の私服を着替える場所と収納場所
(対象：リビングもしくは子ども室を選択した人)



選択した場所で服を着替える理由

リビングで着替える理由 (n=116)		%
1位	小さいころからそうだから	46%
2位	服の収納場所に近いから	36%
3位	**部屋の温度がちょうどいいから**	**16%**

子ども部屋で着替える理由 (n=117)		%
1位	服の収納場所に近いから	61%
2位	**家族に見られない場所だから**	**27%**
2位	小さいころからそうだから	27%

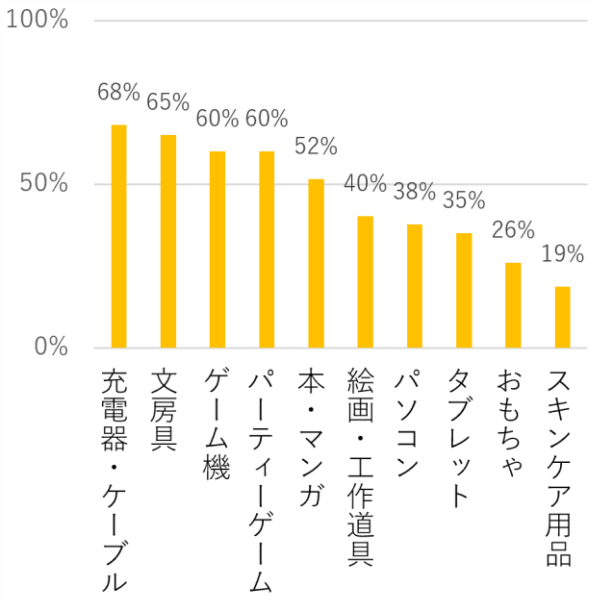
〈家族で共有するモノの実態・デジタル機器と親子のコミュニケーション〉

サマリー3.

親子で最もシェアされているものは「スマートフォン等の充電器・ケーブル」 リビング収納に新たな課題

親子で一緒に使うものは、文房具やゲーム機を上回り「スマートフォン等の充電器・ケーブル」が最多となり、その定位置はリビングが 8 割超。デジタル関連のものを共有する家庭では、「充電・コンセント・コードまわり」の困りごとを挙げる割合が、共有していない家庭より高く、置き場所や管理方法が曖昧になりやすい課題もみられた。

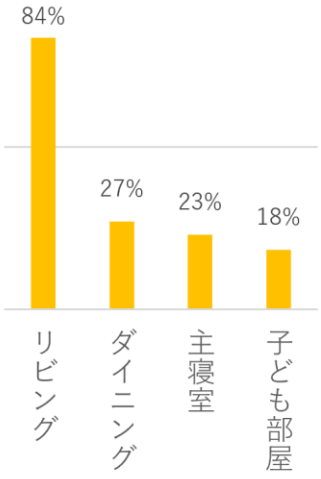
Q.親子間で一緒に使っている物 TOP10 〈複数回答〉(n=417)



Q.親子間共用のスマートフォン等の充電器・ケーブルの定位置

〈複数回答〉(n=284)

(対象：親子で共有している物が「スマホ等の充電器・ケーブル」と回答した人)



Q.家族で一緒に使っている物を収納する際に、困ったこと〈自由記述〉(n=75)

(対象：親子で共有している物が「スマホ等の充電器・ケーブル」と回答した人)

※スマートフォン、タブレット、パソコン、充電器のいずれかを家族で共有

デジタル共有※		%
1位	収納容量・置き場所不足 共通で使うものは個室ではなくリビングや玄関の共通の場所に置きたいが、収納が足りない(40代女性)	55%
2位	**充電・コンセント・コードまわりの課題** スマホの充電ケーブルは、収納できずにリビング横にあるカウンターの上に置きっぱなし。カウンターがいつも片付かない。(40代男性)	**21%**
2位	元に戻さない・ルール不統一 片付けしないことも多く散らかる。なかなか共通認識をもって扱うのは難しい(40代男性)	21%

デジタル非共有		%
1位	収納容量・置き場所不足	42%
2位	元に戻さない・ルール不統一	37%
3位	所在不明・誰のものか分からない 複数人で使用するため、時折所在が分からなくなる。(40代男性)	21%

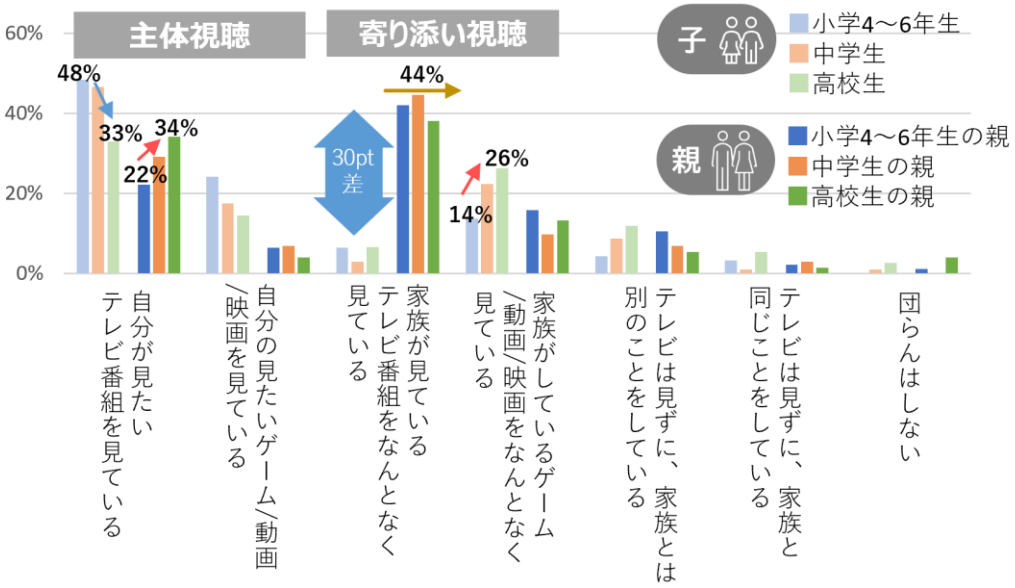
サマリー4.

子どもの成長後もリビングは家族をつなぐ場に　家族時間を支えるリビングの価値を再確認

団らん時のテレビ利用で、小学生の 48%が「自分が見たい番組を選ぶ」と回答したが、高校生では 33%に減少。一方「家族が見ている番組をなんとなく一緒に見ている」がどの学齢の親でも約 4 割で、子どもに付き合う様子がうかがえる。また、「家族の見る動画・映画を一緒に見る」は小学生で 14%、高校生になると 26%に増える。

Q.共有のテレビを使用した家族団らんの過ごし方は？〈単一回答〉(親n=274子n=274)

（対象：リビングにTVを置いていないと回答した人を除く）



Q.リビングで過ごす理由〈複数回答〉

（対象：リビングにTVを置いていない人・TVを見ない人・団らんしない人を除く）

子どもがテレビのあるLDKで過ごす理由（n=241）		
1位	テレビの大きい画面で見やすいから	42%
2位	家族が近くにいるから	34%
3位	テレビがこの部屋にしかないから	33%

親がテレビのあるLDKで過ごす理由（n=223）		
1位	**家族が近くにいるから**	**73%**
2位	テレビを見ながら、他のこともできるから	44%
3位	テレビの大きな画面を、みんなで一緒に見られるから	28%

※1：パナソニック ホームズ『くらし兆しラボ』https://homes.panasonic.com/kurashi-lab/kizashi-lab/

※2：本調査は両社が販売した戸建住宅の居住者を対象としたものであり、全国の一般家庭全体を代表するものではありません。

未来をまちづくる PLT Group

プライム ライフ テクノロジーズグループは、パナソニック ホームズ、トヨタホーム、ミサワホーム、パナソニック建設エンジニアリング、松村組を事業会社として「未来をまちづくる PLT」をコーポレートメッセージに掲げ、社会課題と顧客課題の解決に取り組んでいます。

※プライム ライフ テクノロジーズ（株）は、2020 年 1月にパナソニックとトヨタ自動車が設立し、三井物産を加えた 3 社を株主とする会社です。